

私には二つの夢がありました。それは元芸人という経歴を生かし、本を出版する事と、あるテレビ番組に出演する事。

今月、本を出版し、一つ目の夢をかなえます。「元芸人が教える『笑って学ぶ』小学校理科」(東洋館出版社)というタイトルで、芸人時代だけでなく京都市青少年科学センター時代の経歴を生かしたエデュテイメントに関する理科教育の本です。

⑩ 人生の道に迷う



大阪成蹊大准教授 福岡亮治

いました！子どもの頃から見ていた思い出もあり、芸人時代は出演を目標にしていた憧れの番組「探偵！ナイトスクープ(朝日放送)」に出演しました。依頼者ではなく、理科の専門家としてアドバイスをする立場です。「ペットボトルに入った柿の種を取り出す」というテーマでなかなか出てこない柿の種を取り出す方法について科学的な立場で解説し、アイデアを出して解決する事ができました。

後悔も経験もプラスに変えて

役目を果たし、とてもうれしかったのですが、もつとうれしかったのが、その後の展開で起こりました。私が元芸人で島田紳助さんからアドバイスを頂き、教師になり現在は大学の准教授であることが紹介されました。私を芸人の後輩として扱っていただいている温かく、すてきな内容で、私にとって



は夢のようなオンエアの時間でした。正直な話を言うと、心の中で「芸人を辞めた後悔」というものがずっとありました。辞めた直後は不安とストレスから不眠症、片頭痛に悩まされていました。しかし、小学校の先生を経て大学の先生になり、人生が充実していくと後悔も薄まり、徐々に緩和してきました。そして、今回の放送により、芸人を辞めた後悔は本当のゼロになりました。

思えば、高校・大学受験でも自分の選択に不安や後悔がありました。その後の就職や転職、結婚、育児などのさまざまな場面でもたくさん選択肢がありました。



しかし、「よい人生だった！」とポジティブに振り返ることのできる今は「私の選択は間違いではなかった」と言い切れます。さらに、「他の選択でも、結局は今回と同様に正解だったのでないかな？」と思っています。どの選択をするのかということはもちろん

大切ですが、「決断した以上はその後にどうやって生きていくのか」ということも大切です。さらに、全てを包括的に考えると、芸人を辞めた後悔が原動力になり、一生懸命生きることができたので、「一見ネガティブに捉えられそうな後悔というものも私の人生には意味があった」と今は思っています。

人生全てがうまくいくことはありません。しかし、経験という意味では、うまくいかなないこともプラスにすることができません。言葉では分かっていたかもしれませんが今回の件で、それを実感として理解することができました。